

農地法の許可申請受付切日は毎月10日です。

潮来農委だより

第83号

発行者 潮来市農業委員会
 編集者 広報委員会
 TEL 63-1111
 内線 270・272



11月12日 「道の駅いたこ大収穫祭」にてサツマイモ販売

潮来市農業委員会

鹿取 豊造 八代
 薄井登三男 香澄
 白井 孝 大生原
 小倉 栄寿 延方
 堀越 豊志 津知
 谷田川雅巳 潮来

**農地利用最適化
 推進委員 担当地区**

松本 清隆 徳島・米島・福島・延方前
 宮本 孝一 新宮・古高・洲崎・下田・宮前
 高品二美代 十番・十四番
 堀井 満 上戸・永山・島須(宿・古宿)
 鬼澤 淳一 前川
 村山 真一 大生・大賀
 浅野 国彦 須賀・曲松・小泉・西・東
 服部 吉益 水原・釜谷
 遠峰喜久栄 島須(赤須)

榊原 秀明 津知
 橋本 勇作 西町・七軒丁・大洲・大塚野・あやめ・日の出・潮来前
 石神 一徳 堀之内・茂木・清水・牛堀

農業委員 担当地区

謹賀新年
 今年もよろしく
 お願いいたします

◆ 主な内容 ◆

- ◇会長あいさつ、市長あいさつ……………P. 2
- ◇道の駅いたこ花壇整備 他……………P. 4
- ◇市長への意見書の提出 他……………P. 3



新春のごあいさつ

潮来市農業委員会

会長 松本清隆

新年あけましておめでとうございます。

日頃より農業委員会活動に深いご理解とご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の位置づけが、昨年の5月8日から5類に移行されたことで、徐々に以前の状況に戻りつつあります。しかし、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化等の影響により、エネルギーや原材料価格の高騰など、依然として厳しい状況が続いております。農業を取り巻く情勢は、農業従事者の高齢化や担い手の減少及び耕作放棄地の増加、農畜産物の需要の落ち込みなど、農業経営者の自助努力だけでは困難な状況であり、構造改革をさらに進めていくことが求められています。

このような中、地域の農地を有効に活用するため、農地の集約化等に向けた取り組みを加速化する「地域計画」の策定が、昨年4月1日に法定化されました。これは、農業者みなさんの話し合いによる地域の将来の農地利用の姿を明確化した設計図です。現在、農業委員会においては、市の求めに応じ、「地域計画」の策定に向けた目標地図の素案づくりを進めています。

なお、本年度も必須業務となりました担い手への農地集積・集約化、遊休農地の発生防止等の農地利用の最適化の活動を、関係機関と連携を取り強力に推進してまいります。

新たな年を迎え、潮来市農業委員会一丸となり、潮来市農業発展のためより一層精進してまいりますので、皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びとなりますが、皆様のご多幸とご健勝を心からご祈念申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

潮来市長

原浩道

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、大変お世話になりました。また、また、市政運営、農業政策につきましては、多大なるご理解ご協力を賜りまして厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年は、第46回全国育樹祭が11月11日水郷県民の森を会場とし、潮来ばやしにおける伝統芸能のお披露目や秋篠宮皇嗣同妃両殿下によるお手入れ行事（枝打ち、施肥）が行われました。この育樹祭を契機に、森林・林業の魅力に加え、本市の魅力を全国へ発信することができたと感じております。ご協力を賜りました関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

近年、農業を取り巻く環境は、ウクライナ侵攻などを起因とした燃料や肥料の物価高騰、少子高齢化による農業従事者の働き手・後継者不足・地球温暖化による自然環境の変化といった大変厳しい課題に直面しております。

このような中、農業が持続的に成長を続けるためには、農業に携わる人が安定した収入を得て農業の担い手が増える環境づくりが必要不可欠であると認識しております。本市といたしましても、さらなる地域農業の活性化に向け、農業者の皆様と連携を図りながら、元氣な農業を育むことができる持続可能な農業振興の推進に加え、本市の特産品でもある極早生米「一番星」や地域オリジナル米「潮来あやめちゃん」、「まこもたけ」といった地域ブランド力の強化と販路拡大に取り組んでまいりますので、引き続き皆様には、本市の特産品が安定的に供給できるよう、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、新しい年が健康で飛躍の年となりますよう併せて皆さまのご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます、新春のご挨拶といたします。

— 潮来市の農業振興に向けて —

潮来市農地等利用最適化推進施策に関する意見書を提出

潮来市農業委員会は、令和5年9月25日、原浩道市長へ「令和6年度潮来市農地等利用最適化推進施策に関する意見書」を提出しました。



主な意見の項目は次のとおりです。

1. 米づくりに対する支援について

- (1) 取り組みやすい飼料用米、加工用米の推進等による生産調整の確実なる実施を検討してください。
- (2) 米の直接支払交付金制度の創設等、米価に対する価格補填等につき検討してください。
- (3) 潮来産米「一番星」の産地化を進めるために、更なる生産量の拡大、販売先の確保等に努められたい。

2. 担い手に対する支援について

- (1) 新規就農者等の育成・確保のため、各種支援につきまして検討してください。
- (2) 認定農業者等に対し、市単独で農業機械・施設の整備に対する補助事業等の拡充につきまして検討してください。
- (3) 小規模農家に対して、農業機械、施設の整備に対する支援を検討してください。
- (4) 認定農業者制度のメリット等の周知、認定後の経営支援の充実を図る等、新たな担い手の育成、確保に努められたい。

3. 担い手への農地集積・集約化に対する支援について

- (1) 農業経営基盤強化促進法の一部改正について、市内農業者に対し周知を図られたい。
- (2) 簡易な土地改良事業に対する支援を検討してください。

4. 遊休農地の解消に対する支援について

- (1) 遊休農地の有効利用について、農業委員会だけで検討しても限界がありますので、市、関係機関の支援について検討してください。
- (2) 担い手農家が遊休農地等を借り受けて耕作をする場合に、市単独の助成制度の創設等を検討してください。

◆ 全国農業新聞 ◆

全国農業新聞は、地域農業者の代表機関である農業委員会ネットワークが発行する週刊の農業総合専門紙です。

1週間の農政の動きや現場で役立つ栽培技術・流通の情報、魅力的な農家の取り組みなどを幅広く伝え、担い手の皆様の経営発展に役立つ新聞です。

ぜひ、全国農業新聞から「情報という肥料」を吸収しましょう。

発行日 / 月4回金曜日 購読料 / 月700円

お申し込みは、農業委員会へご連絡ください

(TEL: 0299-63-1111 内線 270・272)

農業者年金で安心して豊かな老後を！

農業者年金の3つのメリット

メリット1	メリット2	メリット3
女性に優しい	若年層には手厚い政策支援 (保険料補助)	税制面で大きな優遇
<ul style="list-style-type: none"> ●奥様も単独で入れます ●女性農業者の長い老後をしっかりサポートします ●女性農業者の老後の安心は自分で確保 ●家族経営協定で保険料の国庫補助も 	<ul style="list-style-type: none"> 国民年金第1号被保険者等の農業者年金への加入要件に加え ●39歳までに加入 ●農業所得が900万円以下 ●認定農業者で青色申告等を満たせば受けられます 	<ul style="list-style-type: none"> ●支払った保険料は全額が社会保険料控除の対象となります

【お問い合わせ先】 潮来市農業委員会
(TEL: 0299-63-1111 内線 270・272)

農業委員会総会日程

農地法の許可申請等は、毎月次の日程で行われています。

締切日 毎月10日

農地農政相談日 随時

現地調査日 毎月17日

総会日 毎月25日

※土曜・日曜・祭日等と重なるときは、変更になります。

■議案審査の状況を公表します。

期間：令和5年7月～令和5年12月
農業委員会定例会における議案審査の件数は下記のとおりです。

審査項目	7月	8月	9月	10月	11月	12月
農地法第3条 (農地のままでの権利の移転)	2件	1件	2件	4件	3件	2件
農地法第4条(自己転用)						
農地法第5条 (権利の移転を伴う転用)	3件	2件	1件	3件		
利用権の設定 (農地中間管理事業も含む)	6件	3件	29件	15件	37件	26件
農地の現況確認証明		1件	1件			
その他	1件				1件	5件

道の駅花壇整備

潮来市農業委員会の管理する道の駅いたこ前の花壇整備を11月5日に実施しました。

毎年5月と11月の年2回、農業委員・推進委員及び地域ボランティアの協力を得て、季節感豊かな花の植え付けを行っています。

農業委員・農地利用最適化推進委員18名が班編成をして、日曜日に交代で水かけや除草作業等の管理を実施しています。道の駅や鹿島スタジアム等へおいでになる方々を歓迎おもてなしができるよう、継続的に花壇整備をしていきます。



道の駅収穫祭

11月12日（日）、「道の駅いたこ」の大収穫祭の開催にあわせて、サツマイモの販売を行いました。販売したサツマイモ（シルクスイート・紅はるか・すずほっくり・ひめあやか）は、農業委員会において耕作放棄地解消事業に取組み、実証圃場として20アールの畑を再生し、栽培したものです。

当日は、あいにくの天気でしたが、たくさんの方に購入していただくことができました。



イモ掘りを体験

— 耕作放棄地解消事業 —

10月27日に潮来小学校の1・2年生とあやめこども園の園児が大生地内の再生畑でイモ掘りを体験しました。イモ掘り体験学習も11年目に入りました。

5月31日に植えた4種類のサツマイモ（シルクスイート、紅はるか、すずほっくり、ひめあやか）の収穫を行うことができました。園児・児童とも楽しんでイモ掘り体験を実施することができました。



編集後記

新年あけましておめでとうございませう。

令和六年の正月を迎え、一年が経つのが早いと感じるのは、私だけでしょうか。

昨年の夏は、今までにない程の猛暑に悩まされましたが、大雨や大風が無かった分、秋は豊作で庭のみかんやゆずなども枝が折れそうなほどたくさん実り、見事なものでした。取った実を干し柿にしたり、ゆずを砂糖漬けにしたり、楽しんで食べています。今年も災害が無く、農家の皆様が安心・安全に農業ができるようになればよいですね。

地域の皆様のため、農業委員、農地利用最適化推進委員一同、努力してまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

広報委員 高品 二美代

◆ 広報委員会 ◆

- 委員長 高品 二美代
- 副委員長 石神 一徳
- 委員 遠峰 喜久栄
- 委員 服部 吉益
- 委員 鬼澤 淳一